

事業評価表

担当課: 土木

部 港湾

課

TEL(直通):076-444-3336

様式 1

事業名	富山新港渡船管理費	24年度最終予算	70,893 千円
		24年度決算	61,379 千円
	事業コード:64038	25年度当初予算	74,914 千円

※備考 25年度の事業等の統合・ 改編の概要	改編後の事業名:	
	改編の概要 (概要を簡潔に記載)	

【当該事業が最も関係のある政策】(本掲)

1 政策の柱	安心	政策名	生活交通の確保
政策目標	県民の生活を支える身近な公共交通サービスが安定的に確保され、高齢者、障害者など誰もが安全で快適に移動できること。		
主な施策名	地域公共交通の維持活性化		

【関連する政策】(再掲)

2 政策の柱		政策名	
3 政策の柱		政策名	
4 政策の柱		政策名	
5 政策の柱		政策名	
6 政策の柱		政策名	

【平成24年度の事業の実施状況と事業の必要性等の分析】

該当政策	主な実施項目 (細事業)	最終予算(千円)	実施状況(内容)	実績数量	必要性		有効性	効率性	
					政策目標 適合性	県関与の 妥当性	事業効果	効果向上 の余地	業務改善 の余地
1	渡船管理費	58,875	県営渡船(海竜、こしのかた)の運営費	一式	a 適合	b やや低い	a 高い	a なし	a なし
1	渡船工事請負費	12,018	県営渡船の上架修繕	一式	a 適合	a 高い	a 高い	a なし	a なし
標記事業の総合判定 (必要性、有効性、効率性)						b 一部に課題あり	a 課題なし	a 課題なし	

【平成25年度の改善内容】

渡船の廃止に向け、市や地元関係者との協議を引き続き行う。

【課題】(24年度実施事業の分析、25年度の改善内容を踏まえ、政策目標達成に向けての課題を記述)

課題の有無	有	← 上記「必要性等の分析の総合判定」でa以外にチェックがあり、課題が残されている場合「有」。評価表公表時に課題あり事業として整理します。25年度改善されていれば「無」。▼をクリック。
内容	平成22年度の行政改革委員会で、「新湊大橋が完成し現在の渡船の代替交通手段が確保されれば、渡船を廃止する方向で関係者と協議する」という提言を受けている。提言を受けて、平成23年2月から地元交渉に着手しているが、地元の同意を得られていない。	

【補足説明】(24年度の課題はないが25年度以降に生じた課題や、事業の推進に当たって、政策目標達成の観点から説明が必要な場合に記載)

【26年度の改善内容】(上記課題または補足説明に対する26年度予算等での対応状況(事業の改廃、新規・拡充事業の概要や事業内容・手法等の改善点など)を記載)

平成22年度の行政改革委員会で報告の趣旨を踏まえながら、市や地元関係者との協議を引き続き行う。